

チャノキイロアザミウマ情報第3号

平成29年6月30日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

1 発生状況

黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、豊橋市、東浦町のブドウほ場ではほぼ平年並ですが、蒲郡市、南知多町のカンキツほ場で6月の第4半旬から急増し、多い状況です（図）。

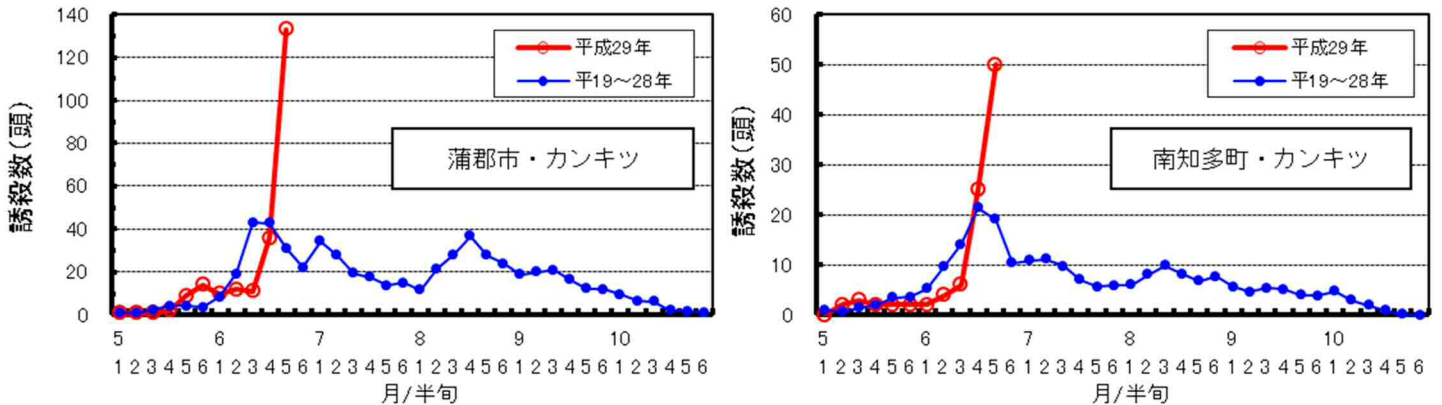


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

6月下旬に行った、ほ場周囲における本種の生息数調査（ブドウ12及びカンキツ24ほ場のイヌマキ（防風垣）10新梢の払い落とし虫数）において、ブドウでは4.9頭（平年3.9頭、前年0.8頭）で平年並ですが、カンキツでは16.9頭（平年10.0頭、前年4.6頭）で、やや多い発生量でした。

降雨が少なく、発生に好適な条件が続いた上、6月20日前後に第2世代の成虫発生ピークを迎えたため、発生量が多くなったと推察されます。

2 発生ピークの予測と防除

本種は成虫の発生ピーク時期が防除適期です。有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ第3世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて7月7日から7月16日で、前年より5日から8日遅いと予測します（表）。発生の多いほ場では、表の第3世代成虫発生ピーク時期に防除を実施しましょう。

なお、6月29日名古屋地方気象台発表の1ヶ月予報では、気温が高いと予想されており、ピーク日が早くなる可能性があるため、今後の気象状況に注意してください。

表 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	大府	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第2世代	6/20	6/17	6/21	6/16	6/21	6/22	6/20	6/20	6/19	6/25	7/14
第3世代	7/11	7/7	7/13	7/7	7/13	7/13	7/12	7/12	7/11	7/16	8/5
(前年)	7/5	7/2	7/5	6/30	7/5	7/6	7/4	7/5	7/4	7/8	7/5
前年差	6日遅	5日遅	8日遅	7日遅	8日遅	7日遅	8日遅	7日遅	7日遅	8日遅	9日遅*
第4世代	7/29	7/26	8/1	7/25	7/31	7/31	7/30	7/31	7/30	8/3	8/28

各地のアメダス平均気温から予測。 ※稲武については、第2世代の前年ピーク日と前年差。

6月29日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋、大府は前年値）を用いて計算。

前年の第3世代は、前年気温の実測値を用いて計算。